

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040110

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：2,000千円 平成26年度～ 事業費：2,500千円 計画内容：運営費助成
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 雄武観光の売り込み	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	観光協会運営助成事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	協会の安定運営	関係例規・法令名	#N/A	
事業目標	1協会	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容				
計画内容	観光協会への運営費助成	観光協会への運営費助成～ 2,300千円	観光協会への運営費助成～ 5,142千円	観光協会への運営費助成～ 4,744千円	観光協会への運営費助成～ 5,744千円	観光協会への運営費助成～ 4,402千円
	事務局長人件費等相当額助成	事務局長人件費等相当額助成～ 1,485千円	(管理費～1,351千円、事業費～ 2,256千円、臨時雇用賃金～400 千円、運転資金1,135千円)	(管理費～1,578千円、事業費～ 2,766千円、臨時雇用賃金～400 千円)	(管理費～1,578千円、事業費～ 1,766千円、臨時雇用賃金～400 千円、第10回雄武の宝”うまい もん”まつり記念大会補助金～ 2,000千円)	(管理費～1,856千円、事業費～ 2,546千円)
	事務所(交流センター和室)改修工事	事務所(交流センター和室)改修 工事～6,300千円	事務局長人件費等相当額助成 ～5,250千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,478千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,556千円	※うまいもんまつり事業費1,000 千円含む。
	事務所開設備品等購入助成	事務所開設備品等購入助成 ～5,250千円			事務局長人件費等相当額助成 ～4,556千円 前年度精算減～-1,500千円	事務局長人件費等相当額助成 ～4,146千円 事務職員人件費等相当額助成 ～3,470千円 前年度精算減～-1,118千円
計画事業費	事業費(千円)	53,955	15,335	9,620	9,300	8,800
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	1,485	1,485			
	地方債	0				
その他	1,000				1,000	
一般財源	51,470	13,850	9,620	9,300	7,800	
一般財源	51,470	13,850	9,620	9,300	7,800	
実績事業費	事業費(千円)	52,927	14,307	9,620	9,300	8,800
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	1,000				1,000	
一般財源	51,927	14,307	9,620	9,300	7,800	
関連事項	特定財源の名称 緊急雇用対策交付金 いきいきふるさと推進事 業助成金	【評価・実績】	(実施内容等) 観光協会への運営費助成 法人化移行 事務所改修工事 事務局長採用	(実施内容等) 観光協会への運営費助成 法人化移行 事務所改修工事 事務局長採用	(実施内容等) 観光協会への運営費助成	(実施内容等) 観光協会への運営費助成
			※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1協会	1協会	1協会	1協会
		年度達成率		93%	100%	100%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率		27%	44%	62%
	備考欄					

事業名	観光協会運営助成事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町観光協会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	観光入込み数								
【抱える課題やニーズは】	実働人員の不足及び自主財源不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	事務局体制の機能強化による滞在体験型観光の促進	① 補助協会数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1協会</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1協会</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	1協会	実績値	1協会	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	1協会										
実績値	1協会										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	観光客の増加により、地元経済の活性化を図る。	② 入込観客数 産業まつり うまいもんまつり	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>30,000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>14,000人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>46.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	30,000人	実績値	14,000人	達成度	46.7%
目標年度	平成29年度										
目標値	30,000人										
実績値	14,000人										
達成度	46.7%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の支出	観光協会に対する補助金の交付									
	地域おこし協力隊員の派遣	国の制度を活用し、地域おこし協力隊員(観光支援員)を派遣									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既存の事業展開を含め、NPO法人としての事業展開(他地域に出向いての特産物の積極的な販売PRの実施、観光ガイド等地域リーダーの育成等)が必要であり、町の支援が必要と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	法人化移行後の事業展開により、イベント開催や観光客誘引の体制強化が図られたものと判断する。 産業観光まつりが悪天候により、入込客数が大幅に減となった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	NPO法人(民間)としての強みを活かした活動計画を進めており、効率的であると判断する。また、国の制度を活用し、地域おこし協力隊員を派遣している。	
		<input type="checkbox"/>		事業費抑制
		<input type="checkbox"/>		人員削減
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減		
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他		

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	特定の団体(NPO法人)に対する補助だが、町が積極的に行うべき役割も担っていることから、公平性は確保されていると判断する。	
		<input type="checkbox"/>		受益者負担がある
		<input type="checkbox"/>		受益者負担がない
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る		
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他		

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町とは異なる立場から観光PRIに取り組んでいる団体であり、町が積極的に支援を行う必要がある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町との連携体制の強化を図るとともに、地域おこし協力隊員の活用によって、地域の魅力の発信に向けた取組が必要であり、観光協会の自立に向け継続的な支援が必要である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止